

「ほっかいどう企業の森林づくり」

協定締結について

令和4年8月31日（水）、読売新聞東京本社、読売新聞販売店、古紙回収業者で構成された「読売リサイクルネットワーク（YRN）」と北海道留萌振興局が、「ほっかいどう企業の森林づくり」に関する協定を締結しました。本協定により、小平町大楸の道有林で、植樹、下草刈り、ネズミ駆除などの森林整備を進めていくこととなります。

協定調印式には、YRNの西原洋議長、吉田靖弘議長、黒田憲一事務局長と、留萌振興局の工藤公仁局長が出席し、協定調印を行いました。

YRNは、読み終えた新聞のリサイクルを推進する組織ですが、同時に植樹活動を行う「読売の森」づくりも各地で展開しています。今回は全国10か所目の読売の森となり、協定に基づく植樹祭が令和4年10月12日に行われました。

■「ほっかいどう企業の森林づくり」とは？

…北海道が社会的な貢献を希望する企業・団体と森林所有者の橋渡しを行い、地球温暖化防止や水源かん養、木材の生産などの森林が有する多面的機能が持続的に発揮されるよう、道内の森林整備を行う仕組みです。詳しくはホームページをご覧ください。

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/sky/kigyounomoridukuri.html>

